

■水 循 環

水循環

- 計画目標
- ・雨水の浸透等によって水の良好な環境構造が保たれていること
 - ・水資源が大切に利用されていること

現 状

■ 指標：湧水地（2000年現在の湧水地の確保を図る。）

1991年から1997年の湧水地の資料を基に、2004年度に98か所の湧水地を調査した結果、約40%の湧水地が枯渇又は消失していました。

2003年度に、多摩川水系の台地・丘陵地を調査したところ、252か所の湧水地を確認できました。調査では、自噴したり、河川の水源を形成したりする湧水は少なく、崖にたれているような、いわゆる「しほり水」程度の湧水が多く見られます。



湧水地（麻生区）

■ 指標：市民一人当たりの家庭用水使用量

（2000年現在の使用量より減らすことを目指す。）

市民1人1日当たり水使用量は、1995年度をピークに減少傾向が続き、2004年度は250リットルと前年度と比較して横ばいとなり、2000年度比では約5.3%の減少となりました。

年度別 生活水の1人1日当たり水使用量

年 度	2000	2001	2002	2003	2004
使用量（L/日・人）	264	260	259	250	250

■ 指標：公共施設等における身近な水資源の利用件数

（2000年現在の件数より増やすことを目指す。）

雨水を貯留し、トイレ洗浄水等として利用する設備を1992年から小中学校3校に導入したほか、等々力競技場、多摩区役所総合庁舎、川崎病院の6施設に中水道システムを導入しています。2003年度は、新たに導入した施設はありませんが、2005年度に完成予定の川崎市立多摩病院に中水道システムを導入する予定です。

中水道システム
雨水や炊事、風呂の排水を浄化処理し、水洗便所、散水等に再利用するシステム。

主な施策の概要

具体的施策名	2004（平成16）年度実績	2005（平成17）年度計画等
--------	----------------	-----------------

Ⅲ-4-1 水循環構造の保全

Ⅲ-4-1-1 雨水の利用・浸透の促進

透水性舗装

河川への雨水流出抑制、地下水の涵養や街路樹の保護育成を図るため、雨水の一部を地下に浸透させることができる道路等の舗装。

歩道や公共施設等の整備における積極的な透水性舗装等の導入 【ま：施設計画課、建：道路計画課】	<input type="checkbox"/> 透水性舗装を採用した公共施設数： 13か所（+1か所） ・久末デイケアセンター（2003年） ・かわさき新産業創造センター（2002年） ・麻生図書館柿生分室（2002年） ・柿生小学校（2002年） ・南部生活環境事業所（2001年） ・特別養護老人ホーム「しゅくがわら」 ・高津スポーツセンター、川崎総合ケアセンター、 ・特別養護老人ホーム夢見ヶ崎、川崎病院、 ・生田緑地東口駐車場 他 <input type="checkbox"/> 透水性舗装を採用した面積（累計） ・透水性舗装延長 ・透水性舗装総面積：282,671㎡(+16,617㎡)	<input type="checkbox"/> 透水性舗装を採用した公共施設数 ・橘小学校 ・大戸小学校 ・（仮称）宮前スポーツセンター（2005年度完成予定） ・犬蔵中学校（2005年度完成予定） <input type="checkbox"/> 透水性舗装を採用した面積 ・透水性舗装総面積：1,957㎡
---	---	---

雨水浸透

雨水が地表から地中に浸入する現象を「雨水浸透」といい、その速度又は能力を「雨水浸透能」という。コンクリート化された道路等は浸透能が低く、雨水が浸透せず流出する。一方、農地（畑地）樹林地等は、浸透能が高い。また、積極的な雨水浸透を図る施設を「雨水浸透施設」といい、浸透マス、浸透トレンチ、透水性舗装等がある。

家屋、公共施設等への雨水浸透ますの設置の促進 【建：計画課】	<input type="checkbox"/> 雨水浸透ます設置基数：35基	—
大規模開発における雨水の浸透機能を有する調整池、雨水浸透施設等の設置の促進 【建：河川課／計画課】	<input type="checkbox"/> 指導件数、設置面積 ・雨水流出抑制施設 多摩川水系 指導件数：92件、 貯留量：18,652㎡ 鶴見川水系 指導件数：52件、 貯留量：13,618㎡ ・浸透性緑地 指導件数：60件、 面積：39,437㎡ ・透水性舗装 指導件数：21件、 面積：13,172㎡	<input type="checkbox"/> 予定 雨水流出抑制指導基準等に基づく指導を継続実施 特定都市河川浸水被害対策法に基づく雨水浸透阻害行為の許可業務の実施

公共施設や民間施設における雨水貯留施設等の設置の推進 【建：河川課／計画課】 【ま：施設計画課、環：環境評価室】	<input type="checkbox"/> 指導件数、年間貯留量 ・公共施設における流域貯留浸透施設整備件数：1件、貯留量：691㎡（土橋小学校） ・開発事業に伴う雨水流出抑制指導指導件数：143件、貯留量：31,579㎡	<input type="checkbox"/> 雨水貯留施設を設置した公共施設数 ・橘小学校 ・大戸小学校 ・川中島中学校（2005年度完成予定） ・整備件数2件 貯留量：615㎡
--	--	---

地下水保全計画に基づく、計画的、総合的な施策の推進 【環：環境対策課】	<input type="checkbox"/> 取組状況 「川崎市地下水保全計画」に基づき、「地下水保全計画推進委員会」を開催し、委員相互の協力により、健全な水循環の保全を推進 ・湧水地調査（鶴見川水系で252ヶ所の湧水地を確認）	<input type="checkbox"/> 予定 ・地下水保全計画推進委員会において、委員相互の連絡を図り、健全な水循環の保全を推進
--	--	--

調整池

開発事業の実施による雨水流出量の増大がもたらす下流河川等への影響を軽減するため、大雨の際に、一時的に雨水を貯留し、調整しながら放流する施設。

Ⅲ-4-1-2 地下水流動の確保

地下空間の開発における地下水脈の分断の防止に係る指導の実施 【環：環境対策課／環境評価室】	<input type="checkbox"/> 指導件数：— 工事による地下水影響防止技術指針作成に向けた準備	<input type="checkbox"/> 予定 工事による地下水影響防止技術指針の作成に向けた準備
--	---	--

Ⅲ-4-2 水資源の適正利用

Ⅲ-4-2-1 水資源の適正利用

水資源の有効利用についての普及啓発による節水行動の促進 【水：庶務課】	<input type="checkbox"/> 普及啓発状況 ・アクアロード：年4回、新聞折込：1回45万部 ・水の週間行事の開催（かながわの水資源展） ・水道局営業所で節水コマを有料（1個42円）で提供	<input type="checkbox"/> 計画 ・水道局広報紙「かわさきの水道」 ・かながわの水資源展の開催 ・水道局営業所で節水コマを有料で提供 ・検針票での水道事業のPR
公共建築物における雨水を利用した中水道システムの導入や地下水の利用の推進 【ま：施設計画課】	<input type="checkbox"/> システム導入件数 ◇中水道システム：6か所（±0か所） ・小中学校3校（1992年度～）、 ・等々力陸上競技場 ・多摩区総合庁舎、川崎病院	<input type="checkbox"/> 中水道システム 川崎市立多摩病院（2005年度完成予定）